

大会名称：第78回千葉県中学校総合体育大会バスケットボール大会

開催場所：船橋アリーナ

Aコート

試合区分：準々決勝

期 日：7月29日

クルーチーフ

山越 優美

開始時間：15:10

1st 7分47

白井 駿佑

終了時間：

2nd 7分47

目出 剛丈

昭和学院				○		20 -1st- 10		●		習志野四					
市川浦安				80		32 -2nd- 6		30		習志野					
				15 -3rd- 9		13 -4th- 5									
						-0T1-									
						-0T2-									
						-0T3-									
NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	長尾 杏奈	8		3	2		4	*	鈴木 麻莉	6		3		1
5	*	長山 千鶴	12		5	2		5	*	國井 めい	4	1		1	4
6	*	中野 葉月	7	1	2		1	6		田口 心菜	0				
7	*	齊藤 芽愛	25	4	6	1		7	*	笹木 彩心	16		6	4	
8		薬師寺 愛莉	3		1	1	3	8	*	白鳥 明咲	2		1		3
9	*	宮川 莉愛	10	2	2			9		竹澤 明日実	0				1
10		吉田 有沙	7		2	3	2	10		齋藤 優杏	-				
11		児玉 夏	6		3		2	11		丸山 梨紗	0				
12		加藤 怜奈	0				1	12	*	久保 南津実	2		1		1
13		木内 心々美	0				2	13		堀越 真央	-				
14		薬師寺 愛菜	2		1			14		大嶺 花乃	0				1
15		秋山 柚乃	-					15		日下 智恵	0				1
16		平山 結月	-					16		金橋 莓花	-				
17		齋藤 咲和	0					17		松尾 楓	-				
18		石井 心望	-					18		鈴木 涼花	-				
コーチ 一関 智子								コーチ 田中 柊輔							
A・コーチ 政木 美希								A・コーチ 神 美帆							
合計			80	7	25	9	11	合計			30	1	11	5	12

S:スターター PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファール

準決勝、関東大会出場を懸けた一戦。両チームともにオールコートマンツーマンでスタート。立ち上がり、昭和学院は鋭いドライブから得点を狙いに行く。対する習志野四も冷静に1対1を仕掛ける。昭和学院が先制するが、習志野四#8 白鳥の3Pで逆転する。その後、昭和学院は#9 宮川のカットイン、#7 齋藤の3Pと立て続けに得点し、再度逆転。習志野四は、ドライブからシュートを狙うが決めきれず、昭和学院#7 齋藤の連続3Pで点差を広げられ、20-10で1Qを終える。2Q立ち上がり、習志野四は、積極的に1対1からドライブを仕掛けるが、昭和学院の体を張ったディフェンスで得点を奪えない。昭和学院は素早いパスワークや1対1から連続得点。スコアを26-10とし、習志野四はタイムアウト。習志野四はディフェンスの強度を上げるが、昭和学院#5 長山のリバウンドなどからセカンドチャンスを得点に繋げられ、残り4分、34-10と点差を広げられてしまう。昭和学院の激しいディフェンスの中、習志野四#4 鈴木ジャンプシュート#7 笹木のドライブから得点するが、昭和学院が高確率で3Pを決め、得点をさらに重ねる。残り2分、習志野四は、昭和学院のディフェンスにミスが続き、シュートが打てない苦しい時間が続く。激しいディフェンスから得点を重ねた昭和学院が52-16と点差を広げ、前半を終える。3Q、習志野四#7 笹木の1対1から得点を奪う。昭和学院も素早いオフェンスを仕掛け得点を重ねる。両チーム、体を張ったディフェンスから攻防を続け、67-25で3Qを終える。4Q立ち上がり、昭和学院は#4 長尾から#5 長山へのパスワークから得点を重ね主導権を握る。習志野四も#7 笹木のドライブから得点を奪う。残り3分、リバウンドから習志野四が流れを作る。昭和学院も激しいディフェンスを続け、リズムを崩さない。最後まで両チーム激しい攻防を繰り広げた。昭和学院の力が勝ったゲームだったが、果敢に戦った習志野四の粘りも称えたい。